

平成30年度 大沢中学校 いじめ防止対策基本方針

1 基本的な考え

- どの生徒も、学校生活において、授業や諸活動を充実させ、それぞれの望ましい人間関係づくりを進める。
- いじめについては「どの子供にも、どの学校でも起こり得る」ものであることを十分に認識し、すべての職員、保護者、地域が連携していじめの未然防止に取り組む。
- いじめの未然防止、早期発見に努め、いじめを認知した場合は、全職員が組織的に対応するとともに、保護者の理解を随時得ながら、迅速かつ適切な対応を行う。

2 いじめの定義

平成18年度まで・・・「自分より弱いもの」に対して「一方的」に、身体的・心理的な攻撃を「継続的」に加え、相手が「深刻な苦痛」感じているもの



平成18年度以降・・・当該児童生徒が、一定の人間関係のある者から、心理的、物理的な攻撃を受けたことにより、「精神的」な苦痛を感じているもの



[平成25年度 いじめ防止対策推進法による定義]

児童等に対して、当該児童等が在籍する学校に在籍している等、当該児童等と一定の人的関係にある他の児童等が行う心理的又は物理的な影響を与える行動（インターネットを通じて行われるものを含む。）であって、当該行為の対象となった児童等が心身の苦痛を感じているもの

つまり・・・いじめられた子どもが苦痛を感じたら「いじめ」となる

3 本校での取組

- 未然防止の観点から、道徳や学活の授業を通して、「自分や他人を大切に作る集団作り」に力を入れて取り組めます。
- 早期発見のための一つの手段として「カウンセリングシート」（別紙例参照）を毎月実施します。毎月実施することで、子どもの心情や様子の変化をすぐにキャッチできるようにします。
- 子どもたちを、「全教職員で見守る」体制を作ります。授業中や休み時間等、子どもの諸活動を見守り、小さな変化を発見、共有できるようにします。
- 事案が発生した場合は、教員主導で進めるのではなく、本人や保護者の意向を尊重しながら迅速かつ適切に対応していきます。

◇どんなに小さなことでも構いません。担任や学年主任、顧問、いじめ防止対策専任など、相談しやすい人に、無理せず、相談できることをお話してください。

カウンセリングシート（例）

年 組 氏名

※当てはまるものに○を付けてください。

1 学校に来たくないと思うことがありますか？

（ はい いいえ ）

2 眠れない日がありますか？

（ はい いいえ ）

3 いじられたり、からかわれたり、仲間外れにあったりしていますか？

（ はい いいえ ）

4 もしかすると自分は「いじめられているのかな」と思うことがありますか？

（ はい いいえ ）

5 先生は自分のことを分かってくれていると思いますか？

（ はい いいえ ）

6 あなたの周りで頑張っている人は誰ですか？ それはどんなことですか？

誰ですか？

どんなことですか？

7 その他、何か心配事や悩み事がありますか？（ はい いいえ ）

自由記述

（相談事があれば、どんなことでも良いので書いてください。）